

岡山県立図書館協議会 前回会議での委員意見と図書館の対応

	委員意見	図書館の考え方
サ ー ビ ス の 充 実	新型コロナの対応だけでなく、病院へ入院されている方など図書館の利用が難しい方が結構いるので、そういった方を対象とした郵送貸出を研究してもらいたい。	「有料宅配サービス」という名称で、コロナに関わらず通常のサービスとして実施する予定です。
	借りた本を記録できる通帳のようなものを作っている図書館があるとのことだ。小さい子などは自分が読んでもらった本の記録が残るとすごくうれしいのではないかな。	銀行の通帳のように機械に通すと、借りた本が印字される読書通帳の導入は費用がかかるため難しいです。図書館のHPからマイライブラリーにログインして、マイ本棚という機能を利用してもらえば、自分でいろいろなリストを作ることができます。ファイルで出力することも可能で、小さなお子さんの記録を保護者の方が残しておいてくださると、成長の記録にもなるので、こうした機能をもっと広めていきたいと考えます。また、今年度ファジアーノ岡山にご協力いただいて、読書手帳を配布しました。小さなお子さんに限らず、読書の記録を残しておきたい人は多いので、今後ご協力いただける企業があればこうした機会を設けたいと思います。なお、岡山県教育委員会では、小学生版と中学生版の読書手帳を作成しており、印刷したものの配布は現在はありませんが、ダウンロードして印刷利用することは可能です。
	子ども向けのイベントで、くじで引いた言葉の意味や来歴、事例を百科事典などで調べるミッションを与えられ、制限時間内にくじを競うものがあった。まるで宝探しのように盛り上がっていた。こういうものも楽しいのかなと思う。	ご意見を踏まえ、今後、実施に向けて検討してまいります。
県立図書館のFacebookは、動画がより効果的で利用者増につながるのではないかな。	部分休館中に館内の様子を動画にしたほか、通常開館時にもティーンズコーナーの展示や自動貸出機の使用方法を動画で掲載しました。今後も動画を使用した方が利用者に分かりやすいと思われる題材については動画を使用してまいります。	
中 高 生 の 居 場 所	児童書コーナーに行くとなねころんぼコーナーというのがあり、とても落ち着いてゴロゴロしながら本を読める。それのもう少し年齢の高い方バージョンとして、畳敷きで、遠慮なく、時間も気にせず本を読むコーナーがあれば良いのではないかな。	畳敷きのコーナーを新たに設けることは困難ですが、人目を気にせずに読書や調べ物ができるスペースをご用意しています。けやきテラスや外には芝生広場などがあるほか、1、2階の閲覧室隅の柱部分にはソファを設けており、あまり目立たずゆったりできるようになっています。さらに2階アクセスコーナーには衝立で仕切られた机席（キャレルデスク）もあり、本を読んだりするほか、タブレットをご利用になる若い方も多くいます。いずれも若い方限定ということではできませんが、図書館内にはいろいろな場所があることを周知するよう努めたいと思います。

岡山県立図書館協議会 前回会議での委員意見と図書館の対応

	委員意見	図書館の考え方
中 高 生 の 居 場 所	<p>高校生や大学生が選ぶ人気本のコーナー棚を作ったり、一目で見て比較できるような棚などがあれば、高校生が本を選ぶ時間を削減できるので、図書館を利用するきっかけになって利用者が増え、居場所にもなるのではないかと。</p>	<p>1階ティーンズコーナーは、県内中高校生が壁面飾りと本の展示を行っています。そのほか各部門にて新着棚やテーマ展示など館内に多数展示棚を設けているので活用していただきたいです。ホームページでも展示マップやリストを掲載しています。また、『おもしろ読書事典』で紹介された本をホームページでリンクづけして紹介する予定です。</p> <p>ティーンズコーナーで行った展示について、本のリストや掲示物のアイデアを高校に提供し、高校生が本を選ぶきっかけづくりとなるようにしていきます。また、社会科学部門では3月に若い方を対象とした「新生活に胸ふくらむスタートダッシュ応援展示」、「成人年齢引き下げに関する展示」を行うことにしており、若い方への情報提供にも努めています。県立図書館が各部門で行う展示の際に、例えば司書課程を持つ大学に呼びかけて、一緒に若い人向けの展示の企画を考えてもらうような取り組みを今後考えていきたいと思っています。</p>
	<p>特定の場所でボランティアとして病弱な人のお手伝いをしたいと思っている若い方もたくさんいると思う。そのような人たちに、活動の場を図書館の業務の中で提供できることがあれば、夏休みなど期間限定でも良いので、新たな居場所、心のよりどころになると思う。</p>	<p>対面朗読ボランティアでは難しいですが、図書館で読み聞かせ体験をしてみたい中高生のための企画は夏休みの平日などにできないか検討します。</p> <p>また、タブレット端末を令和2年11月に導入しましたが、ご高齢の方はなかなか利用する方が少なく、ボランティアによる利用講座を開催して、周知に努めているところです。高校生や大学生など若い世代の方にこの講座の講師になってもらう特別講座を企画し、若い世代の方に活躍の場を提供させていただくとともに高齢世代との交流の機会となればと考えています。</p>
	<p>夏休み明けの時期は特に、学校に行きたくないという子が増える。学校に行けなくても図書館があるよ、と呼び掛ける取り組みがかつて注目された。他の大人からの視線が痛くない、何か壁一枚でも、棚一つでもここにいてもいいよ、という場所があればよい。</p>	<p>図書館が居場所の一つとなれるよう、いろいろな機会をとらえ、図書館の存在を若い人たちにPRしていきたいと思っています。図書館内にはいろいろな閲覧スペースがありますので、そうしたところで過ごしていただくことはいつでも可能であり、今後必要以上に声をかけないなど、職員も配慮をして見守るようにしていきます。</p>
	<p>中高生に読み聞かせをしてもらえる、という一角があり、それが親子向けに発信されたらそれだけで来なくなるのではないかと。</p>	<p>定期的な中高生に読み聞かせをもらうのは難しいかもしれませんが、職場体験などの際と一緒に読み聞かせなどの行事に参加してもらうことは可能かもしれません。また、教育や保育関係のカリキュラムを持つ大学には小さな子どもたちに読み聞かせや手遊びなどをいろいろな活動を行っているサークルがあるので、そうした大学へ呼びかけて当館で大学生に活動してもらうことを今後検討していければと思います。</p>